

2027年度

私費外国人留学生選抜 学 生 募 集 要 項

※本選抜はインターネット出願ではありません。

出願書類を含む学生募集要項を請求のうえ、期間内に郵送での出願が必要ですので、
資料請求期間も含めて、必ず出願期間内に手続きが可能か確認してください。

資料請求(URL) <https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/guidelines-download/>

自然災害の発生や感染症の流行等による入学試験の実施について

自然災害の発生や感染症の流行等によって、入学試験の実施が懸念されるときは、本学の Web サイトで試験開始時刻の繰り下げや、試験の中止・延期、選抜方法の変更等の対応をお知らせしますので、定期的に Web サイトで確認してください。

受験情報サイト (URL) <https://juken.ehime-u.ac.jp>



愛媛大学

目 次

1. 募集人員	1
2. 出願要件	1
3. 出願手続	2
(1) 出願期間	2
(2) 出願書類等	2
(3) 検定料の返還	3
(4) 出願方法	4
(5) 受験票等の発送	4
4. 選抜方法	4
5. 個別学力検査等の配点	8
6. 個別学力検査等の採点・評価基準及び試験問題、正解又は解答例、出題意図の公表	11
7. 合否判定基準	14
8. 試験日時及び試験場	15
9. 注意事項	16
10. 合格者発表	17
11. 入学手続及び初年度の諸経費等	17
12. 教育学部の教育コース	19
13. 入学試験個人成績の開示	19
14. 個人情報の取扱い	19
15. 学生募集要項（出願書類等を含む。）の請求方法	19
○ 入学試験に関する照会先	20
○ 入試情報サービス	21

※ 「2027 年度渡日前入学許可制度による私費外国人留学生選抜学生募集要項」は別に作成しています。
愛媛大学 Web サイト (<https://www.ehime-u.ac.jp/guidelines-download/>) でご覧ください。

アドミッション・ポリシー

各学部のアドミッション・ポリシーは、愛媛大学 Web サイトに掲載しています。

(URL) <https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/admission-policy/>



1. 募集人員

学部	学 科 等				募集人員		
法文学部	人文社会学科 「昼間主コース」				若干人		
教育学部	学校 教育 教員 養成 課程	教育発達実践 コース	幼年教育サブコース		若干人		
			特別支援教育サブコース		若干人		
			小学校教育サブコース		若干人		
		初等中等教科 コース	言語社会教育 サブコース	(国語教科) ----- (社会教科) ----- (外国語（英語）教科)		若干人	
				科学教育 サブコース	(算数・数学教科) ----- (理科教科) ----- (技術・情報教科)		若干人
					生活健康・ 芸術教育 サブコース	家庭教科	
			体育・保健体育教科			若干人	
			音楽教科			若干人	
			図画工作・美術教科			若干人	
			社会共創学部	産業マネジメント学科			
産業イノベーション学科				若干人			
環境デザイン学科				若干人			
地域資源マネジメント学科				若干人			
理学部	理学科	数学・数理情報コース			若干人		
		物理学コース			若干人		
		化学コース			若干人		
		生物学コース			若干人		
		地学コース			若干人		
医学部	医学科				若干人		
	看護学科				若干人		
工学部	工学科	機械工学コース			若干人		
		知能システム学コース			若干人		
		電気電子工学コース			若干人		
		コンピュータ科学コース			若干人		
		応用情報工学コース			若干人		
		材料デザイン工学コース			若干人		
		化学・生命科学コース			若干人		
		社会基盤工学コース			若干人		
		建築・社会デザインコース			若干人		
		海事産業特別コース			若干人		
		デジタル情報人材育成特別プログラム			若干人		
農学部	食料生産学科	農業生産学コース、植物工場システム学コース、食料生産経営学コース			若干人		
	生命機能学科	応用生命化学コース			若干人		
	生物環境学科	森林資源学コース、地域環境工学コース、環境保全学コース			若干人		

注 出願は、1つの学部・学科等に限ります。

2. 出願要件

次の(1)、(2)、(3)の全てに該当する者。ただし、医学部看護学科を志願する場合は、(1)、(2)、(3)、(4)の全てに該当する者

(1) 日本国籍を有しない者

(2) 出入国管理及び難民認定法の定めるところにより、大学入学に支障のない在留資格を有する者又は取得でき

る見込みの者で、次のいずれかに該当するもの

- ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び2027年3月31日までに修了見込みの者、又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - ② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者
 - ③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者
 - ④ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者
 - ⑤ グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCE Aレベル資格）又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（国際Aレベル資格）を有する者
 - ⑥ 欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格を有する者
 - ⑦ 文部科学大臣が指定する国際的な評価団体（WASC^{*1}、ACSI^{*2}、CIS^{*3}、NEASC^{*4}、Cognia）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者又は2027年3月31日までに修了見込みの者
- *1 WASC … ウェスタン・アソシエーション・オブ・スクールズ・アンド・カレッジズ
*2 ACSI … アソシエーション・オブ・クリスチャン・スクールズ・インターナショナル
*3 CIS … カウンセル・オブ・インターナショナル・スクールズ
*4 NEASC … ニューイングランド・アソシエーション・オブ・スクールズ・アンド・カレッジズ
- (3) 独立行政法人日本学生支援機構が2026年6月又は11月に実施する日本留学試験（本学が指定する教科・科目）を受験している者
- (4) 医学部看護学科志願者は、TOEFL iBTを受験していること。

（注1）上記（2）①の「これらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの」は、次のとおりです。

- ア 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。）に合格した者で、2027年3月31日までに18歳に達するもの
- イ 外国において、日本の高等学校に対応する学校の課程を修了した者〔これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。）に合格した者を含む。〕で、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了したもの又は2027年3月31日までに修了見込みのもの
- ウ 外国において、指定された11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者又は2027年3月31日までに修了見込みの者
- （注2）日本国籍を有しない者であっても、日本の高等学校（中等教育学校等を含む。）を卒業した者は、この選抜に出願することはできません。

3. 出願手続

（1）出願期間

2027年1月25日(月)～2月3日(水)〔2月3日(水)の日本国内消印有効〕

願書の受付は郵送のみとし、期間内に配達されたもの及び2月4日(木)以降に配達されたもののうち、2月3日(水)以前の日本国内発信局消印があるものを受け付けます。

直接持参しても受理しないので注意してください。

（2）出願書類等

下記の書類等を一括して送付してください。

書 類 等	摘 要
入 学 志 願 票	本学所定の用紙に必要事項を記入したもの
受 験 票 ・ 写 真 票	本学所定の用紙に必要事項を記入したもの
写 真	上半身、無帽、正面向きで3か月以内に撮影したものを、受験票及び写真票の写真欄に貼ってください。（縦4cm×横3cm、白黒又はカラー）
卒業・修了(見込)証明書	外国の最終学校（日本の高等学校に対応する学校）発行のもの（2 出願要件の（2）の①に該当する者のみ）

成 績 証 明 書	2 出願要件の(2)の ①に該当する者：最終学校（日本の高等学校に対応する学校）の成績証明書(写しは不可) ②に該当する者：国際バカロレア資格証書(International Baccalaureate Diploma)の写し及び国際バカロレア最終試験科目の成績評価証明書(写しは不可) ③に該当する者：一般的大学入学資格証明書(Zeugnis der allgemeinen Hochschulreife)の写し ④に該当する者：バカロレア資格証書(Diplôme du Baccalauréat de l'Enseignement du Second Degré)の写し及びバカロレア資格試験成績証明書(写しは不可) ⑤に該当する者：GCE A レベル資格試験又は国際 A レベル資格試験の成績評価証明書(写しは不可) ⑥に該当する者：欧州バカロレア資格証書(European Baccalaureate Certificate)の写し及び欧州バカロレア資格試験成績証明書(写しは不可) ⑦に該当する者：最終学校（日本の高等学校に対応する学校）の修了証明書、成績証明書及び当該教育施設が国際的な評価団体(WASC、ACSI、CIS、NEASC、Cognia)から認定を受けていることが確認できる書類
日 本 留 学 試 験 受 験 票 の コ ピ ー	入学志願票に記載した日本留学試験にかかる資料として、日本留学試験受験票のコピーを提出してください。 ※A4サイズの手紙を使用してください。 ※日本留学試験を複数回受験している場合、本学の受験で利用するものだけを提出してください。
検定料払込証明書	検定料 17,000 円を最寄りの郵便局又はゆうちょ銀行（他の金融機関からの振り込みはできません。）の窓口から払込後(ATMは使用しないでください。)、日附印を押した「振替払込受付証明書(大学提出用)」を「検定料払込証明書」に貼って提出してください。 なお、払込済の検定料は下記(3)の返還請求できる場合を除き、返還しません。
住 民 票 の 写 し	市区町村長発行のもの（住民登録をしていない者は、パスポートのコピー）
志 願 者 名 票	本学所定の用紙に必要事項を記入したもの
返 信 用 封 筒	本学所定の封筒に志願者のあて先を明記（必ず郵便番号を記入すること。）し、410 円分の切手を貼ったもの
実 技 検 査 票 (教育学部志願者のみ)	本学所定の用紙に必要事項を記入したもの (学校教育教員養成課程教育発達実践コース小学校教育サブコースを志願し、音楽実技又は体育実技を選択する者、並びに、学校教育教員養成課程初等中等教科コース生活健康・芸術教育サブコース音楽教科及び体育・保健体育教科を志願する者のみ)
TOEFL iBT スコア レ ポ ー ト (Score Report) (医学部看護学科 志 願 者 の み)	出願時に、TOEFL 試験実施機関(ETS; Educational Testing Service)が提供する TOEFL テスト テイカー スコア レポート (Test Taker Score Report) を印刷したものを提出してください。(※2026 年 1 月 21 日以降、紙のレポートは発行されません。)提出された TOEFL テスト テイカー スコア レポートは、返送しません。ただし、2 年間の有効期限を超えた成績の使用は認められません。 (注) 志願者から提出された TOEFL テスト テイカー スコア レポートの内容に不備がある場合には、合否判定の対象外として取り扱います。

※ 出願書類等のうち日本語以外の言語で記載された証明書等には、必ず日本語訳を添付してください。
なお、科目名、成績評価等が符号又は略字等により表示されている場合は、その説明を添付してください。

(3) 検定料の返還

次に該当した場合は納入済みの検定料を返還します。

- ① 検定料を納入したが、出願しなかった場合
- ② 検定料を誤って二重に納入した場合又は誤って所定の金額より多く納入した場合
- ③ 出願書類等を提出したが、出願が受理されなかった場合

返還請求の方法

前項①又は②に該当した場合は「検定料返還請求書」を送付しますので、必要事項を記入の上、郵送してください。

前頁③の場合は、出願書類等返却の際に「検定料返還請求書」を同封しますので、必要事項を記入の上、郵送してください。

(検定料返還に関する問い合わせ先) 愛媛大学財務部財務企画課出納チーム

E-mail : suitou@stu.ehime-u.ac.jp

(4) 出願方法

出願書類等を取りそろえて、必ず本学所定の封筒を使用し、「速達・簡易書留郵便」で出願する学部の入試係(20 ページ「入学試験に関する照会先」参照)に郵送してください。

(5) 受験票等の発送

受験票等は、2027 年 2 月 10 日(水)頃発送します。

なお、受験票等が 2027 年 2 月 18 日(木)までに未着の場合は、出願した学部の入試係(20 ページ「入学試験に関する照会先」参照)へ連絡してください。

4. 選抜方法

各学部で実施する個別学力検査等と面接の結果及び提出された書類並びに日本留学試験の成績により、合否判定基準に基づき判定します。

なお、医学部看護学科においては、TOEFL iBT の成績を判定に利用します。

【個別学力検査等】

学部・学科等				筆記試験等			面接
法文学部	人文社会学科「昼間主コース」			日本語による口頭試問			○
教育学部	学校教育教員養成課程	教育発達実践コース	幼年教育サブコース	〔国語・数学・理科・外国語から1教科選択〕	国語	現代の国語・言語文化・論理国語・古典探究	○
					数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A（図形の性質、場合の数と確率）・数学B（数列）・数学C（ベクトル）	
			理科		物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物、地学基礎・地学 から1		
			外国語		英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ・英語コミュニケーションⅢ・論理・表現Ⅰ・論理・表現Ⅱ・論理・表現Ⅲ		
			小学校教育サブコース	〔国語・数学・理科・外国語・実技検査等から1教科選択〕	国語	現代の国語・言語文化・論理国語・古典探究	○
					数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A（図形の性質、場合の数と確率）・数学B（数列）・数学C（ベクトル）	
					理科	物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物、地学基礎・地学 から1	
					外国語	英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ・英語コミュニケーションⅢ・論理・表現Ⅰ・論理・表現Ⅱ・論理・表現Ⅲ	
					実技検査等	グループワーク、体育実技、音楽実技、美術実技 から1	

学部・学科等					筆記試験等			面接			
教育学部	学校教育教員養成課程	初等中等教科コース	言語社会教育サブコース (国語教科、社会教科、外国語(英語)教科)		〔国語・ 数学・理科・ 外国語から 1教科選択〕	国語	現代の国語・言語文化・論理国語・古典探究	○			
			科学教育サブコース (算数・数学教科、理科教科、技術・情報教科)			数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A(図形の性質、場合の数と確率)・数学B(数列)・数学C(ベクトル)				
						理科	物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物、地学基礎・地学から1				
						外国語	英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ・英語コミュニケーションⅢ・論理・表現Ⅰ・論理・表現Ⅱ・論理・表現Ⅲ				
		生活健康・芸術教育サブコース	家庭教科		グループワーク						
			体育・保健体育教科		実技検査(体育実技)						
			音楽教科		実技検査(音楽実技)						
			図画工作・美術教科		実技検査(美術実技)						
社会共創学部	産業マネジメント学科				日本語による口頭試問			○			
	産業イノベーション学科										
	環境デザイン学科										
	地域資源マネジメント学科										
理学部	理学科	数学・数理情報コース			日本語による口頭試問			○			
		物理学コース									
		化学コース									
		生物学コース									
		地学コース									
医学部	医学科	数学			数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A(図形の性質、場合の数と確率)・数学B(数列)・数学C(ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)			○			
					理科				物理基礎・物理、化学基礎・化学		
									総合問題		
	看護学科			小論文							
工学部	工学科	機械工学コース			日本語による口頭試問			○			
		知能システム学コース									
		電気電子工学コース									
		コンピュータ科学コース									
		応用情報工学コース									
		材料デザイン工学コース									
		化学・生命科学コース									
		社会基盤工学コース									
		建築・社会デザインコース									
		海事産業特別コース									
		デジタル情報人材育成特別プログラム									
農学部	食料生産学科				日本語による口頭試問			○			
	生命機能学科										
	生物環境学科										

注1 日本留学試験は、次頁の利用出題教科・科目を受験すること。

注2 医学部看護学科は、上記1に加えて TOEFL iBT を受験すること。

【日本留学試験利用出題教科・科目等】

学部・学科等			日本語	総合科目	数学	理科（注）	備考	出題言語	成績利用
法文学部			○	○	コース 1	－	－	日本語	2026 年 6 月 又は 11 月
教育学部			○	○	コース 1 又は コース 2 を選択	2 科目選択	総合科目又は 理科を選択		
社会共創学部			○	○	コース 1	2 科目選択	総合科目又は 理科を選択		
理学部	理学科	数学・数理情報コース	○	－	コース 2	2 科目選択	－		
		物理学コース			コース 2				
		化学コース			コース 2				
		生物学コース			コース 1 又は コース 2 を選択				
		地学コース			コース 1 又は コース 2 を選択				
医学部	医学科		○	－	コース 2	物理・化学	－		
	看護学科		○	－	コース 1	化学・生物			
工学部			○	－	コース 2	物理・化学	－		
農学部			○	－	コース 1 又は コース 2 を選択	2 科目選択	－		

（注）理科の欄の「物理・化学」は物理と化学が必須、「化学・生物」は化学と生物が必須、「2科目選択」は物理、化学及び生物から2科目を選択することを示す。

【教育学部の実技検査等内容】

学校教育教員養成課程 教育発達実践コース 小学校教育サブコース グループワークを選択した者

学校教育教員養成課程 初等中等教科コース 生活健康・芸術教育サブコース 家庭教科

検 査 内 容
生活課題に関するグループワーク

学校教育教員養成課程 教育発達実践コース 小学校教育サブコース 体育実技を選択した者

学校教育教員養成課程 初等中等教科コース 生活健康・芸術教育サブコース 体育・保健体育教科

検 査 内 容
1. 共通実技 器械運動、陸上競技
2. 選択実技 バスケットボール、サッカー、バレーボールから2種目を選択

注 受験者は、次のものを持参すること。

・運動に適する服装 ・屋内用シューズ（*実技検査は体育館で実施する。）

学校教育教員養成課程 教育発達実践コース 小学校教育サブコース 音楽実技を選択した者

検 査 内 容
1. 弾き歌い 小学校・中学校・高等学校の音楽の教科書や教材曲集等に掲載されている任意の歌唱教材（合唱曲を含む。）を弾き歌いで演奏する。簡易伴奏も可。楽譜をみてもよい。合唱曲は任意のパートもしくは主旋律を歌う。 2. 独奏曲 任意の独奏曲（箏、三味線、尺八等の日本の伝統的な楽器のための曲を含む。）を暗譜で演奏する。ピアノ以外の独奏曲は、無伴奏で演奏する。なお、ピアノ以外の楽器を使用する場合は各自で準備する。ただし、試験室に受験者本人が一人で持ち込める楽器に限る。

注1 任意の独奏曲は自作曲も可とする。ただし、願書に添えて楽譜を提出すること。

注2 受験者は上履きを持参すること。

学校教育教員養成課程 初等中等教科コース 生活健康・芸術教育サブコース 音楽教科

検 査 内 容
1. 弾き歌い 小学校・中学校・高等学校の音楽の教科書や教材曲集等に掲載されている任意の歌唱教材（合唱曲を含む。）を弾き歌いで演奏する。簡易伴奏も可。楽譜をみてもよい。合唱曲は任意のパートもしくは主旋律を歌う。 2. 独奏曲 任意の独奏曲（箏、三味線、尺八等の日本の伝統的な楽器のための曲を含む。）を暗譜で演奏する。ピアノ以外の独奏曲は、無伴奏で演奏する。なお、ピアノ以外の楽器を使用する場合は各自で準備する。ただし、試験室に受験者本人が一人で持ち込める楽器に限る。

注1 任意の独奏曲は自作曲も可とする。ただし、願書に添えて楽譜を提出すること。

注2 上記の実技検査は、入学後における研究分野および卒業研究と関連するものではない。

注3 受験者は上履きを持参すること。

学校教育教員養成課程 教育発達実践コース 小学校教育サブコース 美術実技を選択した者

学校教育教員養成課程 初等中等教科コース 生活健康・芸術教育サブコース 美術教科

検 査 内 容
鉛筆による静物デッサン

注1 描画材料（鉛筆、消しゴム他）は、各自持参すること。

注2 カルトン、画用紙（四つ切りサイズを使用する。）は、本学で準備する。

５．個別学力検査等の配点

法文学部

学科等	教科等	面接 (日本語による口頭試問を含む。)	日本留学試験			計
			日本語	総合科目	数学	
					コース 1	
人文社会学科 「昼間主コース」		300	450	200	200	1150

教育学部

課程等			国語	数学	理科	外国語	実技等	面接	日本留学試験				計
									日本語	総合科目	数学 (注 1)	理科	
												2科目 選択 (注 2)	
学校教育教員養成課程	教育発達 実践コース	幼年教育サブコース	(200)	(200)	(200)	(200)	—	150	450	(200)	200	(200)	1200
		特別支援教育サブコース	(200)	(200)	(200)	(200)	—	150	450	(200)	200	(200)	1200
		小学校教育サブコース	(200)	(200)	(200)	(200)	(200)	150	450	(200)	200	(200)	1200
	初等中等 教科コース	言語社会教育サブコース (国語教科、社会教科、外国語(英語) 教科)	(200)	(200)	(200)	(200)	—	150	450	(200)	200	(200)	1200
		科学教育サブコース (算数・数学教科、理科教科、技術・情 報教科)	(200)	(200)	(200)	(200)	—	150	450	(200)	200	(200)	1200
		生活健康・家庭教科	—	—	—	—	200	150	450	(200)	200	(200)	1200
		芸術教育・体育・保健体育教科	—	—	—	—	400	150	450	(200)	200	(200)	1400
		音楽教科	—	—	—	—	500	150	450	(200)	200	(200)	1500
		図画工作・美術教科	—	—	—	—	500	150	450	(200)	200	(200)	1500

注 1 日本留学試験「数学」は、コース 1 又は 2 を選択。

注 2 日本留学試験「理科」は、物理、化学及び生物から 2 科目を選択。

* () は、選択科目の配点を示す。

* 日本留学試験は、「総合科目」又は「理科」を選択。

社会共創学部

学科等 教科等	面接 (日本語による 口頭試問を含む。)	日本留学試験				計
		日本語	総合 科目	数学	理科	
				コース1	2科目選択 (注)	
産業マネジメント学科	400	400	(200)	200	(200)	1200
産業イノベーション学科	400	400	(200)	200	(200)	1200
環境デザイン学科	400	400	(200)	200	(200)	1200
地域資源マネジメント学科	400	400	(200)	200	(200)	1200

注 日本留学試験「理科」は、物理、化学及び生物から2科目を選択。

* 日本留学試験「日本語」は、450点満点を400点満点に換算する。

* () は、選択科目の配点を示す。

* 日本留学試験は、「総合科目」又は「理科」を選択。

理学部

学科等 教科等		面接 (日本語による口頭試問を含む。)	日本留学試験			計
			日本語	数学	理科	
					2科目選択 (注3)	
理 学 科	数 学 ・ 数 理 情 報 コ ー ス	200	400	200 (注 1)	200	1000
	物 理 学 コ ー ス	200	400	200 (注 1)	200	1000
	化 学 コ ー ス	200	400	200 (注 1)	200	1000
	生 物 学 コ ー ス	200	400	200 (注 2)	200	1000
	地 学 コ ー ス	200	400	200 (注 2)	200	1000

注1 日本留学試験「数学」は、コース2を選択。

注2 日本留学試験「数学」は、コース1又は2を選択。

注3 日本留学試験「理科」は、物理、化学及び生物から2科目を選択。

* 日本留学試験「日本語」は、450点満点を400点満点に換算する。

医学部

教科等 学科	数学	理科	総合 問題	小論文	面接	日本留学試験			TOEFL iBT	計
						日本語	数学	理科		
医学科	200	200	200	—	100	400	200 (注1)	200 (注3)	—	1500
看護学科	—	—	—	200	100	400	200 (注2)	200 (注4)	100	1200

注1 日本留学試験「数学」は、コース2を選択。

注2 日本留学試験「数学」は、コース1を選択。

注3 日本留学試験「理科」は、物理及び化学の2科目を選択。

注4 日本留学試験「理科」は、化学及び生物の2科目を選択。

* 日本留学試験「日本語」は、450点満点を400点満点に換算する。

工学部

学科等 教科等		面接 (日本語による口頭試問を含む。)	日本留学試験			計
			日本語	数学	理科	
				コース 2	物理・化学	
工 学 科	機 械 工 学 コ ー ス	200	450	200	200	1050
	知能システム学コース	200	450	200	200	1050
	電 気 電 子 工 学 コ ー ス	200	450	200	200	1050
	コンピュータ科学コース	200	450	200	200	1050
	応 用 情 報 工 学 コ ー ス	200	450	200	200	1050
	材料デザイン工学コース	200	450	200	200	1050
	化学・生命科学コース	200	450	200	200	1050
	社 会 基 盤 工 学 コ ー ス	200	450	200	200	1050
	建築・社会デザインコース	200	450	200	200	1050
	海 事 産 業 特 別 コ ー ス	200	450	200	200	1050
	デジタル情報人材育成特別プログラム	200	450	200	200	1050

農学部

学科 教科等		面接 (日本語による口頭試問を含む。)	日本留学試験			計
			日本語	数学 (注 1)	理科	
					2 科目選択 (注 2)	
食 料 生 産 学 科		400	200	200	200	1000
生 命 機 能 学 科		400	200	200	200	1000
生 物 環 境 学 科		400	200	200	200	1000

注 1 日本留学試験「数学」は、コース 1 又は 2 を選択。

注 2 日本留学試験「理科」は、物理、化学及び生物から 2 科目を選択。

* 日本留学試験「日本語」は、450 点満点を 200 点満点に換算する。

6. 個別学力検査等の採点・評価基準及び試験問題、正解又は解答例、出題意図の公表

試験問題、正解又は解答例、出題意図の公表について、次のとおり行います。

Web サイトによる開示

試験問題は、2027 年 5 月下旬以降に本学 Web サイト「入学試験問題の公表」

(<https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/past-exam/>) で公表します。

正解又は解答例、出題意図については、準備ができ次第、本学 Web サイトで公表します。

解答例は、標準的な解答例を示しています。

著作権の関係上、問題の一部を掲載しない場合があります。



教育学部及び医学部医学科の筆記試験

教科	採点・評価基準（一般的基準）
数学	教育学部は、数学Ⅰ・数学Ⅱ及び数学A（図形の性質、場合の数と確率）・数学B（数列）・数学C（ベクトル）、また、医学部医学科は、前記に加えて数学Ⅲ及び数学C（平面上の曲線と複素数平面）の理解度が採点・評価の対象となる。 数学の基礎をなす諸概念を的確に把握し、応用することができるか問うとともに、広く数学についての理解力、論理的思考力、計算力、記述力を総合的に評価する。
物理	物理基礎・物理の基礎学力の達成度が採点・評価の対象となる。 自然現象、実験や観測などにおける物理現象、物理法則の理解度を問う出題を通じて、物理学に対する理解力、論理的思考力、推理力、記述力を総合的に評価する。
化学	化学基礎・化学の基礎学力の達成度が採点・評価の対象となる。 観察や実験に基づいて化学的な諸現象を理解する力、化学の基礎的な諸法則の理解度及び諸法則を基に正しい結論を導く力を問うとともに、化学に対する論理的思考力、推理力、記述力を総合的に評価する。
生物	生物基礎・生物の基礎学力の達成度が採点・評価の対象となる。 生物や生物現象の特徴は、多くの要因が関与していて複雑であり、しかも、それらが有機的関連を持っていることである。このような生物の仕組みや働きについての基本的概念や原理・法則が理解できているかを問うとともに、それらを分析的並びに総合的に考察する能力が養われているかを評価する。
地学	地学基礎・地学の基礎学力の達成度が採点・評価の対象となる。 地学全般にわたる基礎知識、地球環境や身近な自然に対する観察力、自然現象から本質的な情報を取り出し考察する能力等を重要視するとともに、理解力、論理的思考力、推理力、記述力を総合的に評価する。

法文学部

学 科 等	教 科 等	採点・評価基準（一般的基準）
人文社会学科 「昼間主コース」	面接 (日本語による 口頭試問を含む。)	目的意識を中心に、勉学への意欲や関心、基礎的知識、理解力、思考力、表現力、態度などを多面的、総合的に評価する。
	成績証明書	学業能力判定の参考とする。

教育学部

課 程 等			教 科 等	採 点・評価基準（一般的基準）
教育学部共通			国語	高等学校学習指導要領（国語）に示された内容に基づき、人間活動の基盤となる言語による思考・認識の能力を評価する。 具体的には、近代以降の文章や古典の文章をもとに、文字力・語彙力・文法力など言語にかかわる力、思考力・想像力・認識力など読解力にかかわる力、さらに、それらの力の表出を通して捉えられる表現する力などを総合的に評価する。
			外国語	外国語（英語）での読解に関する問題、外国語（英語）での表現に関する問題を通して、思考力・判断力・表現力及び外国語（英語）コミュニケーション能力を総合的に評価する。
			面接	教員を目指すという目的意識、勉学意欲、基礎的知識などについて他者に自分の言葉で伝えられる自己表現力やコミュニケーション能力、主体性などを総合的に評価する。
			成績証明書	在学中の修学状況の確認資料とする。
学校教育教員養成課程	教育発達実践コース	小学校教育サブコース	グループワーク	生活や社会に関する課題を提示し、その課題についての議論や作業中の姿から、本学部で学ぶことへの興味・関心、小学校の教員を目指す上で求められる家庭科に関する知識を活用した思考力・判断力・表現力、他者との協働性および主体性を評価する。
			体育実技	各種の運動における合理的な実践にむけた体育の技能について評価する。なかでも、小学校の教員を目指す上で求められる運動に関する基礎的な知識、技能とそれらを活用した思考力・判断力・表現力などを評価する。
			音楽実技	小学校の音楽科における表現及び鑑賞などの幅広い活動を指導する上で求められる基礎的能力（表現力、創造力）を、演奏の試験を通して総合的に評価する。
			美術実技	造形的な表現力をはじめ、造形活動に必要な基礎的能力を評価する。また、図画工作・美術の指導に必要な知識、技能、及び思考力・判断力・表現力を評価の対象とする。
	初等中等教科コース	生活健康・芸術教育サブコース	家庭教科 グループワーク	生活や社会に関する課題を提示し、その課題についての議論や作業中の姿から、本学部で家庭科教育について学ぶことへの興味・関心、小学校・中学校・高等学校の教員を目指す上で求められる家庭科に関する知識を活用した思考力・判断力・表現力、他者との協働性および主体性を評価する。
			体育・保健 体育教科 体育実技	各種の運動における合理的な実践にむけた体育の技能について評価する。なかでも、小学校、中学校の教員を目指す上で求められる運動に関する基礎的な知識、技能とそれらを活用した思考力・判断力・表現力などを評価する。
			音楽教科 音楽実技	小学校、中学校の音楽科における表現及び鑑賞などの幅広い活動を指導する上で求められる能力（表現力、想像力）を、演奏の試験を通して総合的に評価する。
			図画工作・ 美術教科 美術実技	造形的な表現力をはじめ、造形活動に必要な基礎的能力を評価する。また、図画工作・美術科指導に必要な知識、技能、及び思考力・判断力・表現力を評価の対象とする。

社会共創学部

学科等	教科等	採点・評価基準（一般的基準）
産業マネジメント学科 産業イノベーション学科 環境デザイン学科 地域資源マネジメント学科	面接 （日本語による 口頭試問を含む。）	目的意識を中心に、学習への意欲や関心、基礎的知識、理解力、思考力、表現力、態度などについて総合的に評価する。
	成績証明書	面接時の参考資料とする。

理学部

学 科 等		教 科 等	採 点・評価基準（一般的基準）
理 学 科	数学・数理情報コース 物 理 学 コ ー ス 化 学 コ ー ス 生 物 学 コ ー ス 地 学 コ ー ス	面接 （日本語による 口頭試問を含む。）	目的意識、勉学意欲、基礎的知識、理解力、表現力などについて総合的に評価する。
		成績証明書	面接時の参考資料とし、面接に含めて評価する。

医学部

学 科	教 科 等	採 点・評価基準（一般的基準）
医 学 科	総合問題	日本語や英語の論文・文章の内容を的確に把握した上で、論述、解答させることにより、読解力、論述力、記述力を評価する。内容面では、医療の社会性に対する認識、科学論文等に対する理解力、推理力などを評価する。
	面接	面接時の態度や質問に対する応答を通して、医学を学ぼうとする目的意識や勉学意欲、自己認識、協調性、社会性などを総合的に判断して採点・評価する。
	成績証明書	面接の際に参考とする。
看 護 学 科	小論文	文章の内容や意味を正しく捉え、内容を論理的に考察し、自分の考えを論理的にまとめて表現できる能力などを総合的に採点・評価する。
	面接	面接時の態度や質問に対する応答をもとに、看護の専門職を目指すという目的意識や情熱、人や人の暮らし及び看護に関する関心や知識、社会性や協調性、思考力や表現力などを総合的に判断して採点・評価する。
	成績証明書	面接の際に参考とする。

工学部

学 科 等		教科等	採 点・評価基準（一般的基準）
工 学 科	機 械 工 学 コ ー ス 知 能 シ ス テ ム 学 コ ー ス 電 気 電 子 工 学 コ ー ス コ ン ピ ュ ー タ 科 学 コ ー ス 応 用 情 報 工 学 コ ー ス 材 料 デ ザ イ ン 工 学 コ ー ス 化 学 ・ 生 命 科 学 コ ー ス 社 会 基 盤 工 学 コ ー ス 建 築 ・ 社 会 デ ザ イ ン コ ー ス 海 事 産 業 特 別 コ ー ス デ ジ タ ル 情 報 人 材 育 成 特 別 プ ロ グ ラ ム	面接 （日本語による 口頭試問を含む。）	目的意識、勉学意欲、基礎的知識、自己表現力などについて総合的に評価する。
		成績証明書	面接時の参考資料とする。

農学部

学 科	教科等	採 点・評価基準（一般的基準）
食 料 生 産 学 科 生 命 機 能 学 科 生 物 環 境 学 科	面接 （日本語による 口頭試問を含む。）	日本語コミュニケーション能力、勉学意欲・主体性、一般的な基礎知識及び本人が履修した専門的知識について評価する。
	成績証明書	面接における口頭試問（本人が履修した知識）の参考資料とし、面接に含めて評価する。

※ 個別学力検査等において、入学後の修学に必要な日本語能力についても確認します。

なお、日本語能力の水準は、「日本語教育の参照枠」（令和3年10月12日文化審議会国語分科会報告）における B2 以上を目安とします。

7. 合否判定基準

〔○印が当該事項に該当することを示す。〕

事 項		合否判定基準		
		総合点で合否を判定する。	原則として総合点で合否を判定するが、ある科目の成績が水準以下の場合は、総合点の如何にかかわらず不合格となることがある。	同点者の順位決定基準
学部等				
法文学部			面接の評価が著しく低い場合	同点者は、同順位とする。
教育学部			面接の評価が著しく低い場合	総合得点が同点の場合は、面接の得点により順位を付ける。
社会共創学部			面接の評価が著しく低い場合	同点者は、同順位とする。
理学部		○		同点者は、同順位とする。
医学部	医学科		面接の評価あるいは筆記試験の得点が著しく低い場合	① 総合得点が同点の場合は、面接の得点により順位を付ける。 ② 面接の得点が同点の場合は、個別学力検査の得点により順位を付ける。
	看護学科		面接の評価あるいは小論文の得点が著しく低い場合	① 同点者は、面接の得点により順位を付ける。 ② 面接の得点が同点の場合は、小論文の得点により順位を付ける。
工学部			面接の評価が著しく低い場合	同点者は、同順位とする。
農学部			○	同点者は、同順位とする。

8. 試験日時及び試験場

(1) 試験日時

学部	学科等			個別学力検査等の日時			2月26日 (金)				
				2月25日(木)							
法文学部	人文社会科学「昼間主コース」			面接（日本語による口頭試問を含む。）9:00～							
教育学部	学校教育教員養成課程	教育発達実践コース	幼年教育サブコース		理科 外国語 9:00～10:40	国語 数学 11:30～13:10		面接 9:30～			
			特別支援教育サブコース								
			小学校教育サブコース		理科 外国語 9:00～10:40	国語 数学 11:30～13:10					
					実技検査等（グループワーク） 9:00～						
							実技検査（体育実技） 14:00～				
							実技検査（音楽実技） 14:00～				
				実技検査（美術実技） 14:00～16:00							
		初等中等教科コース	言語社会教育サブコース （国語教科、社会教科、外国語（英語）教科）		理科 外国語 9:00～10:40	国語 数学 11:30～13:10					
			科学教育サブコース （算数・数学教科、理科教科、技術・情報教科）								
			生活健康・芸術教育サブコース	家庭教科	実技検査等（グループワーク） 9:00～						
				体育・保健体育教科			実技検査（体育実技） 14:00～				
				音楽教科			実技検査（音楽実技） 14:00～				
				図画工作・美術教科			実技検査（美術実技） 14:00～16:00				
			社会共創学部	産業マネジメント学科			面接（日本語による口頭試問を含む。） 9:00～※				
				産業イノベーション学科							
環境デザイン学科											
地域資源マネジメント学科											
理学部	理学科	数学・数理情報コース			面接（日本語による口頭試問を含む。） 9:00～						
		物理学コース									
		化学コース									
		生物学コース									
		地学コース									
医学部	医学科		理科 9:00～10:40	数学 11:30～13:30	総合問題 14:40～16:40	面接 9:00～※					
	看護学科		小論文 9:00～11:00	面接 12:15～※		面接 9:00～※					
工学部	工学科	機械工学コース			面接（日本語による口頭試問を含む。） 15:00～						
		知能システム学コース									
		電気電子工学コース									
		コンピュータ科学コース									
		応用情報工学コース									
		材料デザイン工学コース									
		化学・生命科学コース									
		社会基盤工学コース									
		建築・社会デザインコース									
		海事産業特別コース									
		デジタル情報人材育成特別プログラム									
農学部	食料生産学科			面接（日本語による口頭試問を含む。） 9:00～							
	生命機能学科										
	生物環境学科										

注 試験当日は、「本学の受験票」及び「2026年(6月又は11月実施分)日本留学試験受験票」を必ず持参してください。

※ 社会共創学部及び医学部の面接の日時の詳細については、受験票発送時に同封する通知に記載されていますので、必ず確認してください。

(2) 試験場

出願学部で実施します。詳細については、受験票送付の際に通知します。

9. 注意事項

- (1) 本学では、病気・負傷や障害等がある者が、受験上及び修学上不利になることがないように、合理的配慮の提供を行っており、そのための相談を受け付けています。
受験の際に必要な合理的配慮については、内容によって対応に時間を要することもありますので、出願する前のできるだけ早い時期に志願学部の入試係（20 ページ「入学試験に関する照会先」参照）まで相談してください。
- (2) 出願書類受理後は、いかなる理由があっても出願書類の記載内容の変更は認めません。ただし、住所等の個人情報の誤りや変更がある場合は、志願学部の入試係（20 ページ「入学試験に関する照会先」参照）に連絡してください。なお、出願書類は返還しません。
- (3) 出願受付後の出願取下げや出願書類の追加提出は認めません。
- (4) 出願書類に虚偽の記載があった者は、入学許可後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- (5) 日本留学試験については、日本学生支援機構留学生事業部留学試験課（〒153-8503 東京都目黒区駒場 4-5-29 TEL 03-6407-7457）に問い合わせてください。
- (6) 試験科目等の詳細については、出願する学部の入試係（20 ページ「入学試験に関する照会先」参照）に問い合わせてください。
- (7) 保健師国家試験受験資格について
医学部看護学科では、保健師教育課程に「選択制」を導入しています。
保健師資格の取得を希望する学生のうち、2 年次前学期終了後に選考を受けて（30 人程度を選抜）、所定の単位を修得した者が、卒業時に「保健師国家試験受験資格」を取得できます。
- (8) 試験日前日の 10 時に、志願学部試験場の掲示場に、試験時間割、試験室等について掲示します。あらかじめ必要事項を確かめておいてください。なお、試験室の下見は認められません。
- (9) 試験当日は、指定された時刻までに間に合うよう、時間に余裕をもって試験場に到着し、指定された試験室に入室してください。
- (10) 試験開始時刻に遅刻した場合は、各学部の試験場入口の係員に申し出てください。試験開始時刻後 30 分以内の遅刻に限り、受験を認めます。なお、試験時間の延長は行いません。ただし、面接等では別途、学部ごとに指示を行う場合がありますので、「愛媛大学受験票」と併せて送付する連絡事項を確認してください。また、公共交通機関の遅延や事故等により、指定された時刻までに試験場に到着することが困難な場合には、当該時刻までに受験する学部へ連絡するとともに、試験場でもその旨を申し出てください。この場合、公共交通機関の遅延や事故等を証明する書類（遅延証明書等）の交付を受けてください。
- (11) 試験当日は、「愛媛大学受験票」及び「日本留学試験受験票」を必ず持参してください。入学手続及び入学試験個人成績開示請求の際にも必要になりますので、試験終了後も大切に保管しておいてください。
- (12) 試験時間中、机の上に置けるものは、受験票のほか、黒鉛筆（シャープペンシルも可。ただし、シャープペンシルの芯ケースは、かばんに入れておくこと。）、鉛筆キャップ、プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ等を除く。）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマーや学習タイマー・大型のもの等を除く。）、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋から中身だけ取り出したもの）です。これら以外の所持品を置いてはいけません。これら以外のものは、かばんにしまい各自の机の横又は椅子の下に置いてください。※定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具は使用できません。
- (13) 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、IC レコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用してはいけません。これらの電子機器類をかばんにしまわず、身につけていたり手に持っているとは不正行為となることがあります。なお、イヤホンについては耳に装着していれば使用しているものとして不正行為となります。試験時間中に使用してはいけない電子機器類は、試験室に入る前に必ずアラーム等の設定を解除し電源を切っておいてください。これらを時計として使用することができません。
- (14) 試験室内では、漢字、英文字や地図等がプリントされている服等は着用しないでください。
- (15) 座布団及びひざ掛け（コート類をひざ掛けとして使用する場合も含む。）で漢字、英文字や地図等がプリントされていないものは使用を認めます。健康上その他やむを得ない理由により、上記以外のものを使用したい場合は、監督者の指示に従ってください。

- (16) 試験時間中に監督者が、出願時に提出した顔写真との照合を行います。マスクや眼鏡、帽子等について一時的に外すよう監督者が指示する場合がありますので、指示に従ってください。
- (17) 不正行為を行った場合は、その時点で受験を取りやめさせ、退室させます。その場合は、以後の受験はできなくなるとともに、受験したすべての教科・科目の成績を無効とします。なお、不正行為については、状況により、警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。
- (18) 解答用紙には受験番号を記入し、氏名は記入しないでください。
- (19) 試験場の掲示場には、連絡事項を掲示することがありますので、休憩時間中は掲示に注意してください。
- (20) 試験日の前日及び当日の自動車、バイクでの試験場構内への乗り入れを禁止します。
- (21) できる限り公共交通機関を利用してください。自家用車等による送迎及び大学周辺での無断駐車はご遠慮ください。
- (22) 不明なことなどがあれば、志願学部の入試係（20 ページ「入学試験に関する照会先」参照）に申し出て指示を受けてください。

10. 合格者発表

(1) 合格者発表の日時

2027 年 3 月 6 日（土） 10 時

(2) 合格者発表の方法

- 合格者には、合格者発表日に、合格通知書、入学手続関係書類をレターパックプラス（配達手渡しで、受取時に印鑑が必要。）で郵送します。合格者の発表は、送付された合格通知書が正式なものとなりますので、必ず「合格通知書」で確認してください。

- 次の Web サイト（運営：大学情報センター）で合格者発表を行います。

アドレス（URL）を事前に「お気に入り（ブックマーク）」に登録の上、合格者発表後にアクセスしていただくと、早く確認ができますので、事前登録をお願いします。なお、本学 Web サイトでの発表は行いませんので、ご留意願います。Web サイトでの発表は参考として閲覧の上、必ず合格通知書により確認してください。

Web サイトに受験番号が掲載されているにもかかわらず、合格者発表日から 3 日経っても届かない場合は、受験した学部の入試係（20 ページ「入学試験に関する照会先」参照）にお問い合わせください。

Web サイト（携帯電話・パソコン共通）	
https://daigakujc.jp/ehime-u_goukaku/	
掲載期間	2027 年 3 月 6 日（土）10 時（予定）～2027 年 3 月 18 日（木）17 時

（注）Web サイトにアクセスが集中し、一時的につながりにくい状態になっている時は、少し時間を置いてから、再度アクセスしてください。電話等による合否結果の照会には一切応じられません。

11. 入学手続及び初年度の諸経費等

合格者は、入学手続期間内に入学手続を行ってください。

入学手続は、一部をインターネットにより行います。

なお、詳細については、合格者発表日に郵送する入学手続関係書類で確認してください。

(1) 入学手続期間

2027 年 3 月 6 日（土）～3 月 15 日（月） 17 時必着（郵送）

(2) 必要書類等 (予定)

書 類 等	摘 要
保 証 書	本学所定の用紙に必要事項を記入したもの
2027 年度愛媛大学受験票	本学発行のもの (入学手続完了後に返還します。)
日本留学試験受験票 (2026 年6月又は 11 月実施分)	日本学生支援機構発行のもの (入学手続完了後に返還します。)
学費・生活費の支弁方法を証明する書類	本学所定の用紙に必要事項を記入したもの
住民票の写し (日本国内在住の者)	市区町村長が発行したもの
入 学 料 等	次項「(4) 初年度の諸経費」を参照

(3) 注意事項

合格者は、いかなる理由があっても、入学手続期間内に入学手続を完了しない場合には、入学辞退者として取り扱います。

また、入学手続に際しては、あらかじめ学費・生活費の支弁方法を証明する書類等を準備しておいてください。

(4) 初年度の諸経費

初年度に必要な経費は、おおむね次のとおりです。

学部	入学料	授業料	その他の経費	合計金額
法文学部	282,000 円	年額 535,800 円 (前期分 267,900 円 後期分 267,900 円)	50,660 円	868,460 円
教育学部			50,660 円	868,460 円
社会共創学部			30,660 円	848,460 円
理学部			30,660 円	848,460 円
医学部			33,800 円 (31,370 円)	851,600 円 (849,170 円)
工学部			30,660 円	848,460 円
農学部			30,660 円	848,460 円

注1 その他の経費とは、学生教育研究災害傷害保険及び大学生協生命共済保険料並びに校友会費等の合計金額です。(金額については、変更される場合があります。)

注2 医学部 () 内は、看護学科の金額を示します。

注3 入学料及び授業料の額は、2026 年度納付額であり、2027 年度は改定になる場合があります。

(5) 納付金の納入

① 入 学 料 282,000 円

納 入 期 間 入学手続期間

② 授 業 料 前期分 267,900 円 [年額 535,800 円]

注1 授業料は、入学後に納入します。なお、納入期日等については、合格通知の際にお知らせします。

注2 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料を適用します。

③ その他詳細については、合格通知の際にお知らせします。

(6) 入学の時期

2027 年4月

1 2. 教育学部の教育コース

教育学部学校教育教員養成課程は、教育発達実践コース（幼年教育サブコース、特別支援教育サブコース、小学校教育サブコース）、初等中等教科コース（言語社会教育サブコース、科学教育サブコース、生活健康・芸術教育サブコース）を設けています。実践的なカリキュラムと相互に尊重し、啓発しあう学びを保障することで、確かな教育実践力と豊かな人間性とを兼ね備えた学校教員を養成します。

本課程のコース、サブコース、教科の入学選抜試験により、所属コース、サブコースが決定されます。入学後はコース、サブコースの変更は認められません。

1 3. 入学試験個人成績の開示

本学では、各学部で実施する私費外国人留学生選抜の個人成績を受験者本人に限って開示します。2027 年度入学試験の個人成績の開示は次のとおり行いますので、希望者は期間内に申し込んでください。

ただし、面接については、A（期待される水準を上回っている）、B（期待される水準に達している）、C（期待される水準を下回っている）による段階評価を開示します。

請 求 者：受験者本人に限ります。（代理人は不可）

請求期間：2027 年 5 月 1 日(土)～5 月 31 日(月)

郵送による請求のみとし、この期間内の消印があるものに限り受け付けます。

請求方法：開示請求書により、2027 年度愛媛大学受験票と 460 円分の切手を貼付し自己のあて先を明記した返信用封筒(長形 3 号：12 cm×23.5 cm)を同封して、受験した学部の入試係(20 ページ「入学試験に関する照会先」参照)へ請求してください。

開示請求書は、本学 Web サイト (<https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/results-release/>) からダウンロードできます。

※請求書等に不備がある場合は、開示することができません。不備がある場合は、請求書に記載されている連絡先に電話連絡をするので、必ず連絡の取れる連絡先を明記してください。

開示方法：2027 年 6 月中旬頃、受験者本人あてに、郵送された受験票とともに、簡易書留郵便で送付します。

1 4. 個人情報の取扱い

本学では、出願受付で取得した氏名、住所等の個人情報は、本学における出願の事務処理、出願書類等に不備があった場合の連絡、試験の実施、合格者発表、合格された場合の入学手続関係書類の送付等のために利用します。

なお、出願書類等に不備があった場合には、その訂正・補完を迅速に行っていただくために、本学を受験されること及び提出した出願書類等に不備があることを、保護者等又は所属学校に通知する場合があります。

また、本選抜に係る個人情報は、合格者の入学後の教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）、授業料等に関する業務及び調査・研究（入試の改善や志願動向の調査・分析等）を行う目的をもって本学が管理します。他の目的での利用及び本学の関係教職員以外への提供は行いません。

1 5. 学生募集要項（出願書類等を含む。）の請求方法

学生募集要項（出願書類等を含む。）の請求方法は、愛媛大学 Web サイトで確認してください。

(URL) <https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/guidelines-download/>

○ 入学試験に関する照会先

入試に関する電話によるお問い合わせは、月曜日から金曜日まで（祝日、年末年始を除く。）の9時から17時までの間とし、原則として志願者本人が行ってください。

学 部	連 絡 先
法 文 学 部	愛媛大学法文学部入試係 〒790-8577 松山市文京町3番 電話番号 089-927-9221 E-mail llgakumu@stu.ehime-u.ac.jp
教 育 学 部	愛媛大学教育学部入試係 〒790-8577 松山市文京町3番 電話番号 089-927-9377 E-mail edgakumu@stu.ehime-u.ac.jp
社 会 共 創 学 部	愛媛大学社会共創学部入試係 〒790-8577 松山市文京町3番 電話番号 089-927-9019 E-mail crigakum@stu.ehime-u.ac.jp
理 学 部	愛媛大学理学部入試係 〒790-8577 松山市文京町2番5号 電話番号 089-927-9546 E-mail scigakum@stu.ehime-u.ac.jp
医 学 部	愛媛大学医学部入試係 〒791-0295 東温市志津川 電話番号 089-960-5869 E-mail mkyoumu@stu.ehime-u.ac.jp
工 学 部	愛媛大学工学部入試係 〒790-8577 松山市文京町3番 電話番号 089-927-9697 E-mail kougakum@stu.ehime-u.ac.jp
農 学 部	愛媛大学農学部入試係 〒790-8566 松山市樽味3丁目5番7号 電話番号 089-946-9648 E-mail agrgakum@stu.ehime-u.ac.jp
入 試 課	愛媛大学教育学生支援部入試課 〒790-8577 松山市文京町3番 電話番号 089-927-9173 E-mail nyushijm@stu.ehime-u.ac.jp

○ 入試情報サービス

■愛媛大学受験情報サイト (https://juken.ehime-u.ac.jp)	
入試日程、学生募集要項、オープンキャンパス、進学相談会など受験にかかわる情報に加え、学びと研究、大学生活、卒業後の進路など、本学の情報を幅広く提供しています。	
■入学試験実施統計 (https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/entrance-exam-statistics/)	
過去7年分の入学試験実施統計（選抜別の実施状況や当初合格者の成績、都道府県別入学者数など）を掲載しています。	
■インターネット出願 (https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/online-application/)	
一般選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜への出願は、出願期間内に、インターネット出願サイトから行います。出願前に、動画「インターネット出願の使い方」の視聴や学生募集要項に記載されるインターネット出願の操作方法を確認することをお勧めします。	
■がんばれ国公立大学受験生！！ (https://daigakujc.jp/ehime-u/)	
イベント・トピックス、入試情報、大学の特長・沿革、学部・学科情報、大学生活、キャリア・就職支援等の情報を提供しています。 (運営：大学情報センター)	

■学生募集要項等の提供時期

大学ガイドブック（大学案内）・学生募集要項等は、受験情報サイトから閲覧・ダウンロードができます。

大学ガイドブック（大学案内）等を資料請求される場合は、愛媛大学 Web サイトの「資料請求」

(<https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/document-request/>) からお手続きをしてください。

大学ガイドブック（大学案内）・学生募集要項等	提供開始予定時期
大学ガイドブック（大学案内） 学部ガイドブック（学部案内） 法文学部案内、教育学部案内、社会共創学部案内、理学部案内、 医学部看護学科案内、工学部案内、農学部案内	提供中
入学者選抜要項 ^(注1)	提供中
学生募集要項 総合型選抜Ⅰ ^(注2)	提供中
学生募集要項 私費外国人留学生選抜、 渡日前入学許可制度による私費外国人留学生選抜、社会人選抜	提供中
学生募集要項 総合型選抜Ⅱ ^(注2) 、学校推薦型選抜Ⅰ・Ⅱ ^(注2)	2026 年 9 月中旬～
学生募集要項 一般選抜 ^(注2)	2026 年 11 月上旬～

(注1) 印刷物（冊子）での配布は行っていない。

(注2) インターネット出願のみ。印刷物（冊子）での配布は行っていない。